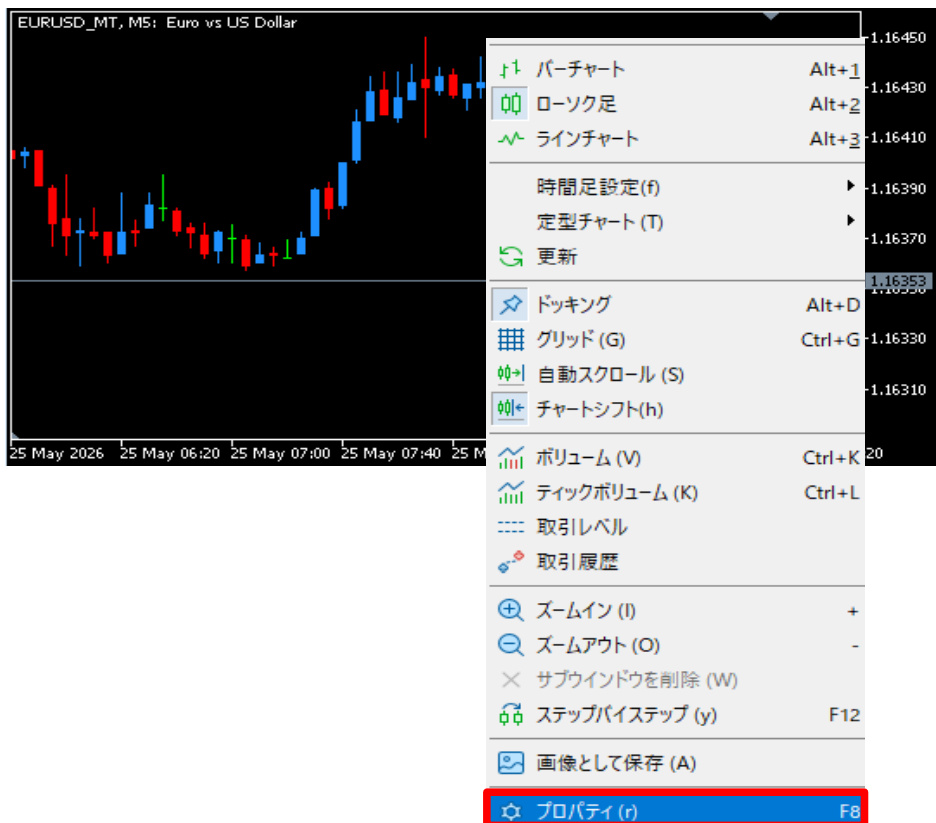


MT5は、ローソク足を常に画面中央に表示させるため、チャートの時間軸を横にスクロールすると縦の価格の目盛が変動します（チャートの上下の幅が変動する）。チャートをスクロールすると、表示範囲の高値・安値や変動幅も変化するため、MT5ではそれに合わせて価格目盛の間隔や、上下の価格幅を変動させ、チャートを見やすくしています。目盛りの価格幅が変化することで、トレンドラインの角度等の見た目が変わるときなどの場合に、スケールの固定設定を利用すると便利です。

1 設定したいチャート上で右クリックして【プロパティ】をクリックします。



2 プロパティが表示されます。
 【共有】タブをクリックします。
 【スケールの固定】にチェックをいれ、上限設定と下限設定を入力し、【OK】をクリックします。



<スケールを1対1に固定>とは？

チャートの横軸（時間）と縦軸（価格）が同じ倍率で拡大・縮小される設定です。スケールを1対1に固定を選択すると「スケールの固定」は自動的に有効になり、ウィンドウの右側にスクロールバーが表示され、上下にチャートをスクロールすることができます。



スケールを固定した状態でチャートをスクロールすると、画面からローソク足が見えなくなる場合があります。その場合、[5]（テンキー）をおすことでローソク足を画面の見える位置に表示させることができます。



[5]（テンキー）を押すと…

